

# 群馬菱の実会だより

<http://www18.ocn.ne.jp/~hishimig/>

(本紙は「群馬菱の実会ホームページ」から、毎月1日に、カラーで綺麗にご覧頂けます。ネットでの閲覧をお奨めします)

## 秋の親睦旅行「南房総 小湊鯛の浦温泉」道中記

10月17日(木)台風一過の快晴のなか、たくさんの方にお見送りをいただき大利根寮を出発。一泊二日の南房総の旅がスタートした。参加者は、総勢38名(会員:34名、会員の奥さん:2名、総務K, 労組書記長)で例年とほぼ同数。往路の車中は、久しぶりの再会を喜びあう和やかな雰囲気なか、カラオケ等を交えあつという間に昼食場所(金谷フェリーサービス)に到着。ここで神奈川県から3年ぶりに参加の益山さんが合流。昼食後は清澄寺を参拝し、16時に宿泊先の鴨川ホテル三日月に到着。

懇親会は、車中とは趣を変えて、お互い膝を突き合わせての情報交換や、カラオケも途切れることなく大いに盛り上がった。

復路は、ホテルから近い誕生寺の参拝を皮切りに、お土産店2店に立ち寄った。旅先では、よく偶然の出会い・ハプニング(邂逅話)があることを耳にするが、今回立ち寄ったお土産店でそのハプ

ニングが起きた。店で働く女性が、旅行参加者の近所に住む女性と知り合いであることが判り、Aさんが、店の女性からその女性に宛てた手紙を託され、車中で話題の一コマともなった。お土産店の後は、金谷で昼食。前日合流した益山さんはここでフェリーに乗船し帰路に。出港する益山さんとの名残を惜しんで、お互い手を振り合う光景は、何ともロマンチックな光景であったのでは。昼食を済ませた後、東京湾アクアラインを経由し帰路に着いた。

往復約500kmの旅であったが、道中出会いがあり、別れがあり、車中は井上幹事の巧みな話術で頭の体操・ゲームがあり、切れ目のないカラオケあり、で大変盛り上がった親睦旅行であったと思います。

これからも皆様からのご意見を頂戴しながら、魅力ある親睦旅行を目指します。

今回、ご多忙の中ご参加いただきました、湯原総務課長様、嶋田書記長様には大変お世話になり有難うございました。



＜旅行の写真をスライドショームービーに編集し、YouTube にアップしました。菱の実会ホームページからご覧下さい＞



写真：ブロッケン現象

【菱の実雑感】  
 十月中旬、紅葉の朝日岳、清水峠、谷川岳を走破した。距離は30km弱。累積標高差約2400m(標準コースタイム17時間半)を体力測定を兼ねての日帰りである。▼荷物はあるだけ少なくし雨具、防寒着、ヘッドライトと水0.5リッター2食程度の行動食のみ。明るくなつて登山口駐車場をスタート、白毛門、笠ヶ岳、朝日岳でトレイルランナーに抜かれる、清水峠で水分補給ここからはランに最適な稜線で時間を稼ぎ蓬峠着12時過ぎ計画より20分遅れ、ここで下山か続行か迷う日没まで5時間！続行。武能岳、茂倉岳の登りでバテる。▼一の倉岳を通過し谷川岳手前でブロッケン現象撮影(左の写真)、西黒尾根を下り途中で日没となりライトを頼りに登山口18時着、12時間かかったが充実した1日だった。(生田三郎)